

分野別意見交換会報告書 【総務常任委員会】

開催日時: 令和8年7月29日(水) 13時00分～14時42分

開催場所: 委員会室

団体名: 箕面商工会議所・箕面市観光協会

出席者: 箕面商工会議所 3名、箕面市観光協会 3名

出席議員: 楠委員長・牧野副委員長・高橋委員・神代委員・桃山委員・増田委員

傍聴者数: 6名(委員外議員4名)

テーマ: 「戦略的シティプロモーションの構築」について

番号	項目	内容
1	会議の目的と全体像	「戦略的シティプロモーション」と「現役世帯の定住促進」を軸に、行政・外郭団体・地域事業者が連携を確認。共通課題として消費額の伸び悩み、場所不足、人手不足、情報共有不足が挙げられた。
2	商工会議所の現状	会員約1,200事業者、年間相談約230社・640件、常勤職員7名(経営指導員6名)体制で事業者を伴走支援。
3	「箕面ゼロイチ応援プロジェクト」の実績	エントリー46名→69名(前年比+約50%)、申請39名→57名、採択20名、創業4名。年齢層は30～50代が約84%、市民割合約94%。支援枠拡充や継続的な販路支援、空き店舗活用の仕組み整備が要望されている。
4	観光協会の取り組みとKPI	4部会体制(二次交通・ブランディング・インバウンド・情報プラットフォーム)で「タッチ箕面」を運営。来訪者満足度は78～90%と高水準だが、消費額は3,000円未満が多く、高付加価値化が課題。
5	TMOの進捗	第3次計画2年目、17事業中13事業が稼働中。「ウォーカブル」な街づくりと駅周辺・観光コンテンツの連携を推進。
6	空き店舗・チャレンジショップ問題	家賃・初期投資の高さが出店の障壁。所有者は信用できる借主を求めている、公的サブリースやインキュベーション施設、改装費補助、他自治体事例(武雄市等)の活用が議論、マッチングなどの仕組みづくりの必要性が急務。
7	体験型観光と回遊性強化	滝道と体験(森林ヨガ、トレラン、川床、夜間演出)の組合せで滞在延伸・高単価化を実現。交通インフラ(北大阪急行延伸)と連動した誘導、体験のパッケージ化が今後の課題。
8	人手不足と今後の展望	柚子等の地域資源で収穫・加工の担い手不足が顕在化、学生ボランティア等の活用が案として提示。中長期的には体験型観光→消費拡大→シビックプライド→定住促進の好循環構築を目指し、支援制度拡充・空間供給・担い手育成・役割分担とKPI検証が今後の焦点。
9	「令和のサイクル」による地域活性化と定住促進の好循環	商店街を単に物を売るだけの場所ではなく、市民の交流や地域情報発信の場として再構築。そこで育まれた市民の箕面への誇りが口コミとなり、最終的に市外からの「選ばれるまち」「現役世代の定住促進」へと結びつく持続的なサイクルを目指すことが必要。
10	お祭りの担い手不足とボランティア促進の工夫	地域(粟生東地区など)の夏祭り等のイベントを支える商店街関係者の高齢化・減少による中止危機が顕在化。回覧板等のアナログ発信に加え、学生ボランティアの参入や、参加メリットなどといった若者が主体的に参加しやすいインセンティブ設計が有効。
11	行政・議会・各外郭団体の「横の連携」の強化	一つの団体のみでは解決が難しい課題(ボランティア不足等)に対し、縦割り行政を排し、各外郭団体や民間同士が風通し良く連携できるハブを、市や議会が主体的に機能させるべきとの意見。
12	観光インフラ「大滝上トイレ」の早期整備要望	観光客の満足度維持や不便な印象を避けるため、大阪府と箕面市の間にある管轄の壁を乗り越え、大滝上への公衆トイレの早期設置を望む切実な要望。